

### Ⅲ 企画展要項

1. 企画展名 「Let's go to the mountains! ～作家×山～」
2. 趣 旨 山。故郷の山はと問われると、皆さんの頭の中に浮かぶ山があるはずです。生活とともにある山、有名な山、百名山と言われる山など。  
鹿児島は、現在も噴火を続ける桜島や霧島連山、低山ながらも作家・深田久弥の『百名山』に名を連ね、薩摩富士と呼ばれる開聞岳、世界遺産の屋久島にある宮之浦岳など数多くの山があります。  
本展では、鹿児島の山に魅了された作家たちや鹿児島ゆかりの山を愛した作家たちを紹介します。
3. 会 期 令和8年12月9日（水）～令和9年6月21日（月）
4. 休 館 日 火曜日、12/29～1/1、2/24、5/6
5. 開館時間 9時30分～18時（入館は17時30分まで）
5. 場 所 かがしま近代文学館 常設展示2階
6. 料 金 大人600円（480円）、高校・大学生450円（360円）、  
小・中学生300円（240円）  
※（ ）内は20名以上の団体料金  
※常設展示もご覧になれます。年間パスポートもご利用になれます。  
※鹿児島市にお住まいで、住所の分るものをご提示いただいた方は「市民料金」となります。
7. 展示構成(案)
  1. はじまり
  2. 作家×山
  3. 山に夢中
  4. 山を舞台にした作品
  5. 山とともに
8. 主な展示資料  
梅崎春生：原稿「桜島」のこと

海音寺潮五郎：書「わが前に桜島あり西郷も大久保も見し火を噴く山ぞ」

島尾敏雄：草稿「桜島の灰」

森園天涙：『森園天涙歌集』

藤後左右：書「夏山と溶岩の色とはわかれけり」

青山義雄：画「桜島」

与謝野晶子、与謝野鉄幹：『霧島の歌』

水原秋櫻子：色紙「高千穂の霧来てひびく鶴乃古ゑ」

斎藤茂吉：色紙「高千穂の山のいただきに息づくや大きかも寒きかも

天の高山」

椋鳩十：原稿「高千穂のふもと」、原稿「サル大王」

萬造寺齋：原稿「悪夢」など 約150点

9. 問い合わせ

かごしま近代文学館

〒892-0853 鹿児島市城山町5-1

Tel 099-226-7771 Mail [kinmeru7@k-kb.or.jp](mailto:kinmeru7@k-kb.or.jp)

担当：井上 育子